



## 「第2回学校評価アンケート【保護者】」の結果から

本校の取組に対する学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者アンケートの結果について、1回目の結果とあわせて以下にお示しいたします。

①・・・令和3年6月23日～7月1日実施 回答数398/409 ②・・・令和3年12月3日～12月13日実施 回答数397/407

評価領域	No	質問項目	回答割合					肯定率	①→②
			そう思う	どちらかと言えばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない		
学習指導・教育研究	1	学校の授業では、お子様は自分の思いや考えをよく発表している。	① 34%	45%	12%	2%	5%	79%	+6
			② 46%	39%	10%	1%	2%	85%	
	2	学校では、子ども一人ひとりを大切にされた授業が展開されており、学習が充実するようにきめ細かな配慮が行われている。	① 41%	48%	3%	0%	6%	89%	+2
			② 43%	48%	3%	0%	3%	91%	
学習指導・教育研究	3	お子様は、家庭学習に積極的に取り組んでいる。	① 37%	40%	18%	2%	0%	77%	+3
			② 30%	50%	14%	3%	0%	80%	
	4	附属幼稚園・附属中学校との幼小中一貫教育の取組は、子どもたちの確かな学びと健やかな成長につながっている。	① 41%	40%	7%	0%	9%	81%	+3
			② 41%	43%	3%	0%	9%	84%	
豊かな心の育成・生徒指導	5	お子様は、自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。	① 30%	48%	16%	2%	2%	78%	-4
			② 26%	48%	20%	1%	2%	74%	
	6	お子様は、自分から進んでサイレント掃除に取り組んでいる。	① 45%	38%	2%	0%	13%	83%	-12
			② 34%	37%	2%	0%	24%	71%	
	7	お子様は、目標をもって何かに意欲的に取り組むなど、仲間とともに楽しく学校生活を送っている。	① 52%	40%	4%	0%	2%	92%	+4
			② 54%	42%	0%	0%	2%	96%	
豊かな心の育成・生徒指導	8	学校は子ども一人ひとりとの対話に心がけており、子どもが相談しやすい環境を作っている。	① 42%	43%	6%	1%	5%	85%	+2
			② 41%	46%	5%	0%	6%	87%	
	11	お子様の様子や学校生活のことで気になることがあった時など、学校は保護者にとって相談しやすい状態になっている。	① 45%	46%	4%	0%	2%	91%	±0
		② 49%	42%	4%	1%	2%	91%		
豊かな心の育成・生徒指導	10	お子様は、家庭で、好き嫌いせず食事をしている。	① 40%	33%	18%	6%	0%	73%	+2
			② 38%	37%	19%	4%	0%	75%	
安全全校	9	お子様は、公共マナーや交通ルールを守り安全に気を付けて、バスや徒歩で登下校をしている。	① 46%	46%	3%	1%	1%	92%	-11
			② 24%	57%	13%	1%	2%	81%	
学開く校かり園れつた	12	学校は、学校・学級便り、HPや連絡帳などを通じて、保護者に学校や学級の教育方針や具体的な取組を発信している。	① 58%	36%	3%	0%	0%	94%	+2
			② 60%	36%	2%	0%	0%	96%	
実教習育	13	教育実習生が入ることでお子様の学校生活が楽しくなり、お子様の成長に役立っている。	① 63%	28%	2%	0%	6%	91%	+5
			② 65%	31%	1%	0%	1%	96%	

肯定率とは「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」とする肯定的な回答を合わせたものです。第1回目と同様、どの項目においても、概ね肯定的な評価を頂くとともに、9項目で肯定率が上がっています。その中でも「自分の思いや考えをよく発表している」という項目が6ポイント上がっており、本校の取組を評価いただいていることや授業の様子などについて情報発信ができていたことがうかがえます。一方、掃除に関する取組や交通ルール遵守に関する取組については、第1回目より大幅にポイントが下がっています。掃除に関することについては、学習や行事以外の情報発信の方法や質について検討していきたいと思えます。公共マナー、交通ルール遵守についても子どもたちを主体としながらも、日々の情報発信や懇談会などを通じて意識の共有化も図っていききたいと思います。紙面の都合上、それぞれの項目について、詳細に言及ができなかったことをお許しください。本アンケートは「児童」及び「教職員」、また、直近3年間の経年変化や関連する質問項目の比較についてもまとめております。本校HPにて「保護者」の結果と合わせて公開しておりますので、ご覧いただけたらと思えます。

## 自由記述について

自由記述についてもたくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。今後の学校運営に生かしていきたいと思えます。書面の都合上、回答の一部をお示ししていますが、その他の回答については、パスワード付きで本校HPにて掲載しておりますので、ご覧ください。パスワードについては、本日ラインネットにてお知らせいたします。

- ・宿題がもう少し多くてもよいのではないのでしょうか。
  - 校区が広いことや習い事をされているお子さんが多いことなども含め、他の公立校と比較すると帰宅時刻、家庭で宿題をする時間にも差があることが予想されるため、一律に多くの宿題をだすことは子どもの負担にもなると考えられます。子ども自身が「考えたい」「解きたい」という思いをもつような授業づくりをすることで、宿題ではなく、自主学習として子どもが自ら家庭学習に取り組めるように指導して参りたいと思えます。
- ・委員会活動を通じて自主性、積極性が出てきたように思えます。役割があるということは成長につながると感じました。
  - 子どもの発達段階や個性に応じて役割や責任をもたせたり、子ども自身にしっかり考えさせたりしていきたいと思えます。
- ・山口市内の他校と比べ行事がなかったのは残念でした。コロナ禍を理由に学校行事に慎重になりすぎているのではないのでしょうか。
  - 音楽発表会や持久走大会などについては実施しておりませんが、社会見学的要素の課外授業や外部講師を招いての学習などは学年に差はあるかもしれませんが実施しているところです。6年生の宿泊を伴う修学旅行や平和学習での大津島回天見学や財政教育プログラム、5年生の宿泊学習やテレビ局見学や自動車工場のリモート見学、4年生の自然教室や大内塗体験等、他の公立校と比べると比較的多いのではないかと思います。子どもの成長に関わる行事を今後も可能な限り実施していきたいと思えます。加えて、保護者の方々にしっかりお知らせしていくことや子どもたちの頑張る姿をご覧いただく機会を可能な限りつくっていききたいと思えます。
- ・「地域の子どもたち」「地域に守られて育ててもらっている」という感謝の気持ちがどうしても低いように感じます。色々な地域から通学しているので、仕方ないかもしれませんが、家庭でも、特に、附小のある白石地区や自分の住んでいる地域に意識を向けて感謝の気持ちを忘れないように気を付けていきたい。
  - コミュニティ・スクールとしての学校として、しっかり意識できるようにしていきたいと思えます。やまぐち学園学校運営協議会を生かしながら、特に白石地区についての意識を高め、子どもの成長につなげていきたいと思えます。
- ・未だに登下校のルールを守らず、自家用車で送迎がある点が気になります。博物館方面で見られます。
  - 入学時の約束に「自力通学できること」と明示しておりますので、車の送迎については特別な事情がない限りは、原則禁止になっております。学校からも周知しているところですが、保護者間におかれましても、声かけをお願いできたらと思えます。